

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	選択	1単位	講義	平成30年度	後期	4年次
科目名	健康支援方法論 Techniques of Health education					
担当教員	岩本淳子					
目的	健康支援の目的・目標・方法を理解し、地域の老人会の健康づくりの場で健康支援プログラムを立案・実施・評価の過程を体験し、地域における健康づくりに臨床看護師が積極的に参加する意義を考察する。					
目標	1. 健康支援の意義を説明できる。 2. 健康支援プログラムを立案できる。 4. 大学近隣に在住する中高年者の健康づくりのための活動へ参加し、知識・技術を普及できる。 5. 健康支援プログラムと実際を評価することができる。					
他科目との関連	この授業は、共通基盤看護学および広域発展看護学, 他の授業で学んだ内容を応用し発展させ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	健康支援プログラムの企画と評価				0.4
	その他	健康支援プログラムの実施と評価				0.6
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	日本健康教育士養成機構（編著）「新しい健康教育—理論と事例から学ぶ健康増進への道」保健同人社 2011.					
参考資料	講義中に紹介する。					
備考 (受講上注意、事前学習等)	第6.7講の授業コマは連続とし、近隣の老人会で学習成果を発表します。詳細は第一回目の講義で説明するので、受講希望者は第1講を欠席しないようにしてください。受け身ではなく、積極的に、主体的に課題に取り組んでください。					